

令和6年2月1日

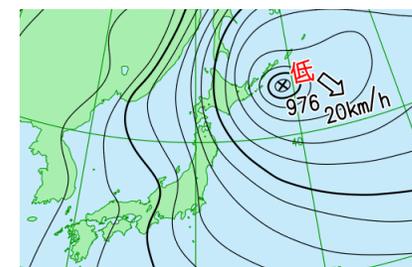
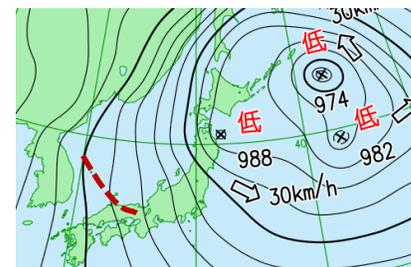
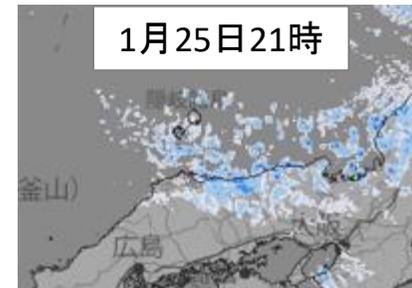
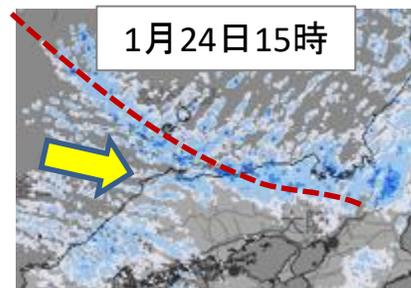
鳥取県知事定例記者会見

令和6年1月23日からの大雪による被害

○今季一番強い寒気とともに、JPCZが1月24日・25日本県付近に向かい、山陰道などでスタックや事故車両が発生して交通障害が発生。公共交通機関にも乱れが生じた。

○その後西風から北風に変わり、寒気が弱まりながらJPCZは南下。これにより25日には湿った重い雪となり、中西部から東部山間部を中心に被害発生。また、倒木により一時的な孤立状態も発生(事前伐採により倒木被害は低減)。

(最大積雪深)
鳥取32cm、大山129cm、智頭44cm



被害状況(2月1日9:00現在)

農林業施設被害額:3,951万円

※樹苗用ハウス、農業用ハウス、畜舎等で倒壊被害発生

品目	棟数等	市町村
樹苗用ハウス	2	大山町
農業用ハウス等	15	大山町、倉吉市他中西部
畜舎	4	琴浦町、大山町



大山町樹苗用ハウス被害



※白ねぎ・ブロッコリーの葉折れ被害

復旧・再生産に向けた対策

災害復興調整費(5,000万円)の発動により早期復旧・再生産を支援

■樹苗用ハウスの復旧支援

- 樹苗用ハウスの復旧(撤去費含む)を支援
実施主体: 樹苗生産者
補助率: 県1/3、大山町1/6(調整中)
※残存苗は5月の県植樹祭での活用を検討

■畜舎の復旧支援

- 牛舎・豚舎等の復旧(撤去費含む)を支援
実施主体: 農業者等 補助率: 県1/3、市町村1/6等

■農業用ハウスの復旧支援

- 農業用ハウスの復旧(撤去費含む)を支援
実施主体: 農業者等 補助率: 県1/3、市町村1/6等

■雪害農産物の販売促進支援

- 白ねぎやブロッコリーの販売促進に係る経費(チラシ・POP作成等)を支援
実施主体: JA等 補助率: 県1/2
※白ねぎの葉折れ等被害: 雪害規格で出荷(いなば: 1/29~、中央: 2/1~、西部: 1/31~)



令和6年度当初予算案の編成

3,605億円程度の予算案を編成

R4当初予算の3,640億円に次ぐ規模
(参考) R2当初予算: 3,432億円、R3当初予算: 3,568億円

<財政フレーム>

実質的な地方交付税の減額が見込まれる中、能登半島地震を踏まえた地震・津波対策、中山間地域における生活機能の維持・確保対策などを積極計上しつつ、健全財政を堅持

- ・県税・地方消費税清算金・地方譲与税・地方特例交付金（定額減税による減収対応分含む）の合計は、前年度比+32億円
 - ・臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、前年度比▲16億円
- ⇒ **主な一般財源は、前年度比+16億円を確保**

<財政誘導目標> ~達成に向けて健全財政を堅持~

	財政誘導目標	R6当初時点
①	令和8年度の財政調整型基金残高 \geq 200億円	214億円程度
②	令和8年度の実質的な県債残高 \leq 3,800億円	3,621億円程度
③	当初予算編成時点でのプライマリーバランスの黒字化	黒字達成

<公共事業> **536億円** ※当初予算の公共事業の規模としては14年ぶりの高水準

- ◆ **台風第7号災害からの復旧促進** (47億円)
 - ・計8回の災害査定が12月8日に完了。着手が可能なものは令和5年度中にすべて発注予定。それ以外の箇所について、速やかな復旧を促進するため、令和6年度分の所要経費を十分に措置
- ◆ **地域高規格道路の整備** (38億円)
 - ・国道313号北条湯原道路（倉吉南IC（倉吉市福山）～倉吉西IC（倉吉市福光））は令和7年3月供用開始予定
- ◆ **令和8年度末開通に向けた山陰道「北条道路」の整備進捗等** (32億円)

令和6年度当初予算案の主な新規事業

「鳥取型ふるさとづくり」に向けた新たな展開



▶ 「鳥取型ふるさとづくり応援補助金」の創設【1億円】

⇒住民主体の共助交通や買物機能導入、支え愛による避難など、生活機能の維持・確保を図る新たな拠点（マイクロ拠点）の形成に向けた体制づくり等への支援（補助率：1/2（市町村間接）、上限額：（ソフト）5,000千円/拠点（ハード）10,000千円/拠点）

▶ 中山間地域の医療人材・介護サービス確保【0.6億円】

⇒小児科医の共同確保、診療所開設・承継支援など、市町村による対策を支援（補助率：1/2、上限額：10,000千円）

⇒公立病院・診療所を設置している市町と連携し、「総合診療医 育成強化専門員（仮）」を鳥取大学に配置

⇒【全国初】繁閑に応じてショートステイ事業所等に職員を派遣する訪問介護事業所の人件費を支援（市町村と協調して上限1,000千円）（ほか）
※中山間地域では冬場にショートステイに切り替える利用者が多いため、訪問介護事業所の経営悪化によるサービスの維持が課題

高付加価値な観光地づくり【0.2億円】



▶ 小型ビジネスジェット活用

⇒快適でシームレスな移動を実現するため、小型ビジネスジェットを活用したモニターツアー実施

▶ アドベンチャーツーリズム推進

⇒本県ならではの自然や文化、アクティビティ等のコンテンツの発掘・磨き上げ、FAMツアー実施、映像コンテンツや専門サイトを通じた情報発信

ジュニアアーティストの育成【0.1億円】



▶ 次世代活動者の発掘・育成・ステップアップ

⇒若年層のための民間コンクール・公募展の開催を支援（上限額：300千円ほか）

⇒若年層が活動する文化活動団体のハルアップ°支援（上限額：100千円）

⇒全国大会等への出品・出場支援、入選・入賞者への更なるハルアップ°支援

▶ CATCH the STAR ミュージックコンテスト開催

⇒中・高校生を対象に、ポップスやロックなどの多様なジャンルで自己表現力や能力を競い、県内の音楽活動を活性化

「あいサポート運動2.0」の展開【0.4億円】

これまでの「あいサポート企業拡大推進員」による企業への働きかけやあいサポーター研修等に加え、以下を新たに実施

▶ 学校でのあいサポート運動学習の全県展開（「あいサポートキッズ」の養成）

⇒総合的な学習、ロングホームルーム等の時間を活用した学習

⇒教材（ハンドブック、研修動画）刷新、教職員向け研修の実施



▶ 業界団体を通じた合理的配慮の更なる促進

⇒業界団体が各企業に実施する研修会等の費用支援（上限額：200千円/団体）

▶ 全国的な福祉団体等と協働した運動の全国PR

⇒団体主催のイベント等でのPR、団体機関誌等への記事の掲載

▶ 地域を巻き込んだ運動の拡大推進（上限額：100千円/団体）

⇒市町村社協等が行う地域住民等への研修会実施経費等を支援

▶ 個別業種に特化した専門的研修

⇒障がい者と接することの多い小売・飲食・交通等の事業者向け研修を県が主催

令和6年度当初組織編制

人口減少社会対策及び中山間地域における課題解決に向けた体制整備

とっとり暮らし推進局と中山間・地域振興局が車の両輪で人口減少社会に対応

- 若者Uターン・定住施策の推進や年間移住者3,000人の達成に向けた体制強化として、**輝く鳥取創造本部にとっとり暮らし推進局を設置**
 - ・**とっとり暮らし推進局に人口減少社会対策課**（人口政策・移住定住推進）と**協働参画課**（地域の個人・団体活動支援）を配置
 - ・若者Uターンや定住施策の全庁的な調整を行う「**若者Uターン・定住戦略本部事務局**」を輝く鳥取創造本部内に設置
（事務局長：とっとり暮らし推進局長）
- 中山間・地域振興局**において、買物環境に加えて、交通や農業、医療、教育等の地域における様々な課題解決に対応
 - ・**中山間・地域振興局に中山間・地域振興課**（中山間振興、買物、共助交通等）と**交通政策課**（鉄道・バス、タクシー等地域交通）を配置

とっとり未来創造タスクフォース
及び若者活躍局からの提案を反映

美術館を教育委員会から知事部局に移管

- R7.3月の県立美術館の開館に向けて、文化振興や観光振興と一体的に進めていく体制として、**地域社会振興部に美術館を設置**
 - ・**当面、美術館整備監を設置し、開館に向けて館長をサポート**

犯罪被害者支援のための新たな体制整備

- 生活環境部に犯罪被害者総合サポートセンターを設置**し、本県独自の被害者支援に向けた体制を整備（東部・中部・西部に事務所を設置）

ねんりんピックの開催及び大阪・関西万博推進に向けた体制の整備

- 第36回全国健康福祉祭とっとり大会の開催に向けて、地域社会振興部に**ねんりんピックはばたけ鳥取2024実施本部事務局**を設置
- 大阪・関西万博の本県展示の準備推進や、万博来訪者の本県への誘客促進に向けて、**関西本部に万博推進室**を設置

能登半島地震を教訓とした防災体制の強化

迅速な状況判断による初動対応と災害対応 「総合防災情報システム」の導入

<課題>

- 被害状況の早期把握が困難だった
- 状況の共有が難しかった

- 情報の集約整理作業の迅速化、省力化
- 情報一元化と適時適切な災害対応（オペレーション）
- 関係機関等との情報共有（市町村、国、他県など）
- 県民にも情報提供

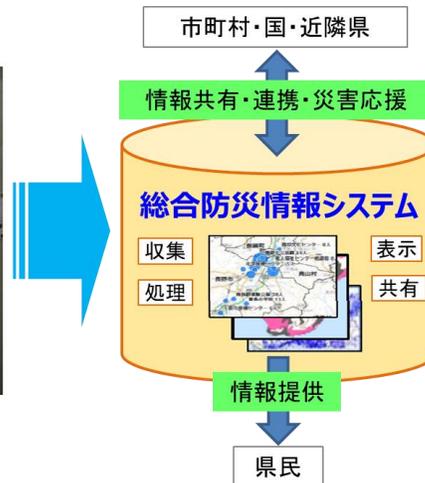
デジタルにより災害対応を効率化・高度化

広域災害に備え、近隣県とのデータ共有を目指す（実現すれば全国初）
（R6年度当初予算：1.4億円）

- 被害状況の早期把握と解明
- IDAサイクル（情報・決断・実行）のスピード、精度、正確度を上げ、災害対応（オペレーション）を迅速かつ的確に行う。

大量の情報を集約し、電子地図上に表示
（被害情報、気象情報、避難情報、避難所情報など）

紙・FAXからデジタルへ

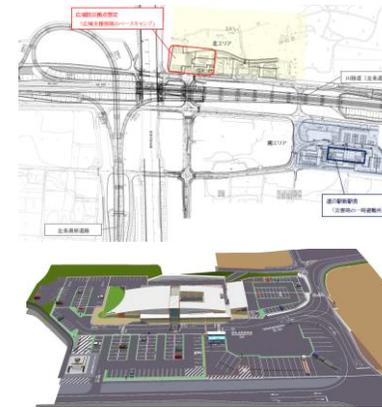


自衛隊・警察・消防の活動拠点 「広域防災拠点」を整備 “道の駅ほうじょう”を活用

道の駅「ほうじょう」（北栄町、国土交通省）
・令和7年4月リニューアルオープン、「防災道の駅」の認定を目指しているところ

整備費用を支援

（R6年度当初予算：0.1億円）



「防災道の駅」（国土交通省が選定）
広域的な防災機能を担うため防災機能（耐震性、電源、駐車場、トイレなど）を強化

- ・自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動の拠点
- ・大型ヘリのヘリパッド
- ・緊急物資等の基地機能
- ・復旧・復興活動の拠点
- ・地域の一時避難所 等

○広域防災拠点

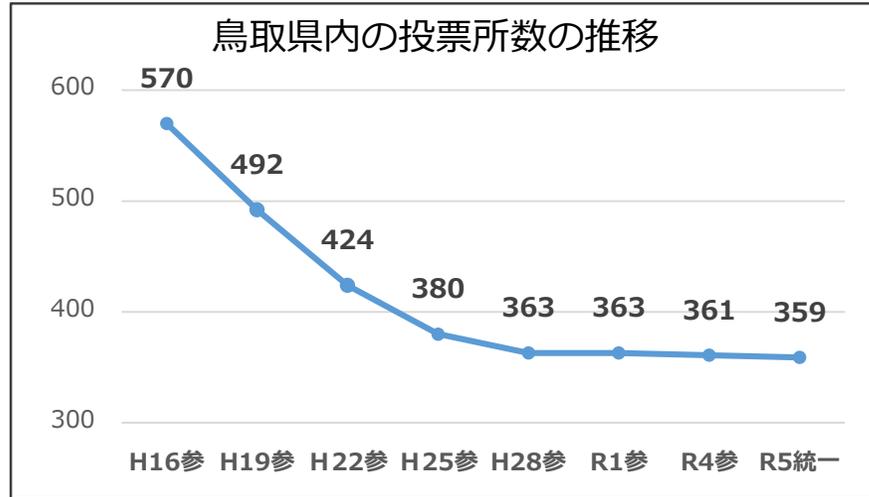
県内外の広域応援部隊の集結及び活動等の拠点となる施設
<現在の指定施設>

- ・東部：ヤマタスポーツパーク
- ・中部：東郷湖羽合臨海公園南谷地区及びその周辺施設
- ・西部：とっとり花回廊

民主主義と地方自治を守るために

■ 投票所減少防止対策（オンライン立会の導入）（7百万円）

投票立会人が不足することを理由にして当日投票所が減少していく事態を解消するためオンライン立会を導入

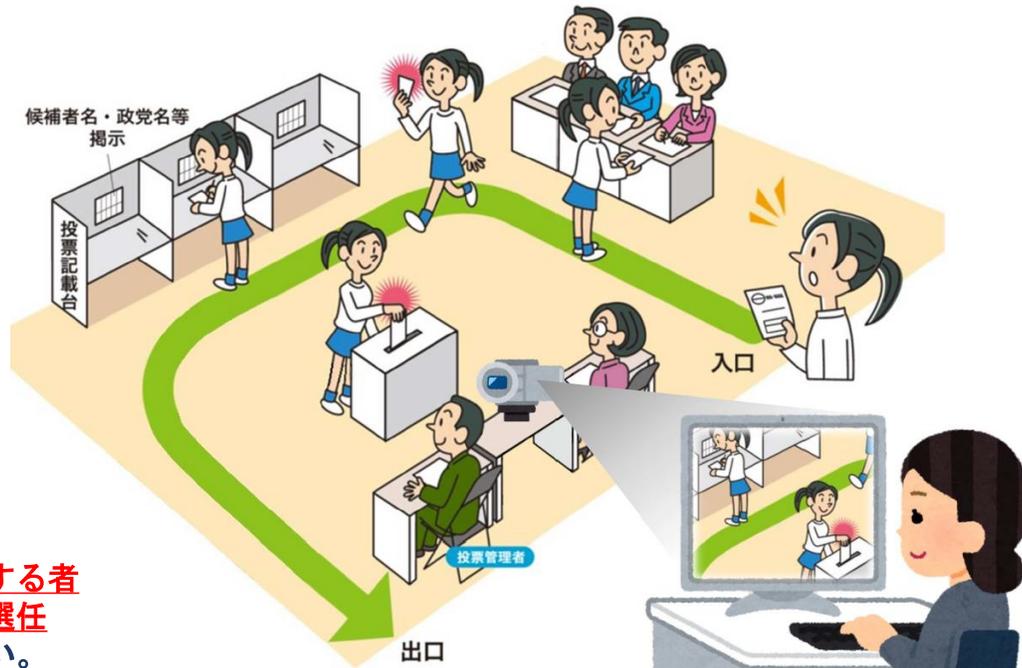


投票立会人（公職選挙法）

（投票立会人）

第38条 市町村の選挙管理委員会は、各選挙ごとに、選挙権を有する者の中から、本人の承諾を得て、2人以上5人以下の投票立会人を選任し、その選挙の期日前3日までに、本人に通知しなければならない。

<オンライン立会のイメージ>



オンライン立会のメリット

○立会人の柔軟な確保により市町村の投票所開設・運営に係る負担軽減

○学生や障がいのある方など多様な人材が選挙に関わることができ、主権者教育・政治参画にもつながる

■ 主権者教育のための教材作成（3百万円）

○小学校、中学校、特別支援学校（小学部・中学部）等において主権者教育を推進するための教材作成

※発達段階に応じて、実際の選挙さながらに、自ら地域課題の解決方法や投票先候補者を考えるような実践的な主権者教育に活用

■ 市町村によるモデル事業の支援（5百万円）

○市町村の行う民主主義再興・政治参加促進についてのモデル事業を支援（補助率1/2 補助上限額50万円）

※市町村による主権者教育の充実、投票環境の向上、議員のなり手不足対策の取組 など

バイオマス発電所へのアセス強化

火力発電所(バイオマス発電等)のアセス手続きが必要となる要件の改正(鳥取県環境影響評価条例施行規則)

発電出力に加えボイラーからの排出ガス量を追加

条例規則改正案

〈アセスが必要な発電所〉

発電出力 15万 kW以上

または 排出ガス量 4万 m³/h以上

- 4万 m³/h以上は工場等の設置事業と同じ規模
- 県内稼働中の木質バイオマス発電所全てが対象となる規模

【パブリックコメント実施結果(1/15~29)】

パブコメ意見(意見者7名)

(主なもの)

- ・規則改正案に賛成(6件)
- ・工事に着手している、関係法令手続きが終了している事業は、対象としないなどの配慮が必要(4件)

▶ 施行日までに電気事業法の手続き(認可または届出)済みの事業は対象外とする経過措置を設ける

(経過措置により対象外となる施設については、安全対策を確認し、必要に応じて指導を行う。)

【今後のスケジュール(予定)】

2月上旬 鳥取県環境審議会答申

3月頃 改正規則公布(予定) ⇒ 一定の周知期間の後、施行予定

米子バイオマス発電所の事故対応
〈現状と今後の予定〉

【事業者】第1回事故調査委員会(11/27)

- ・外部有識者(大学教授)を含めた事故調査委員会を立ち上げ。
- ・損壊状況を報告したほか、現時点での調査状況を共有。

【経産省】第1回審議会開催(12/4)

事業者が損壊状況や事故調査の途中経過を報告

〈現状〉 【事業者】事故調査委員会で事故原因を検証中

- ・県調査チームの指摘事象を含めた事故原因についてあらゆる可能性を調査中。
- ・事故調査委員会はあと2回程度開催(1~3月)

〈今後〉 【事業者】3月中に事故調査報告書を提出予定

【経産省】第2回審議会開催(3~4月)

新型コロナ第10波は全県で注意レベルに（感染症発生動向）

【新型コロナ】

（患者数）・年末年始以降、増加傾向が続く（学校再開の影響もあり、特に10代以下で増加 → 他世代に波及も）

・2024年4週(1/22~28) 西部地区も注意レベルを超える → **県内全域で注意レベルに**

※流行情報(注意レベル)を発表中

東部地区:R6/1/24~ 中部地区:R6/1/10~ 西部地区:R6/1/31~

【2024年4週(1/22~28)定
点当たり患者報告数】

東部	中部	西部
10.67	11.50	11.36

（入院患者数）・第9波水準を一時超えるが、病院内の集団感染の影響あり

・中等症Ⅱ以上の入院患者数は、第9波よりも低い水準で推移

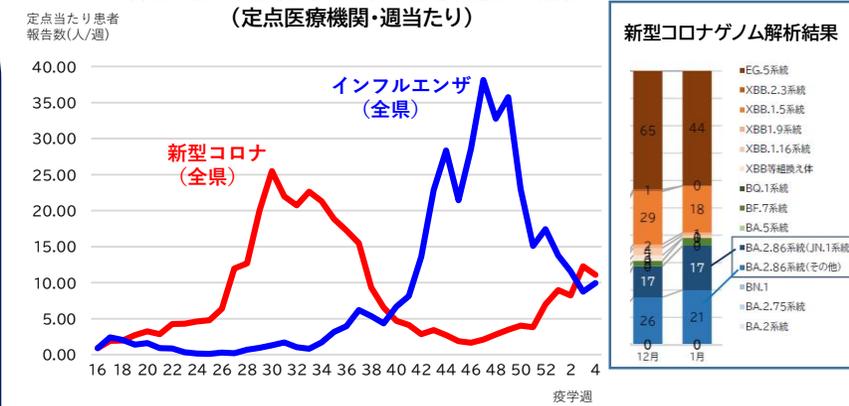
※入院患者数 145名(中等症Ⅱ以上は15名)(1/28)

（変異株）・引き続き、オミクロン株が流行中(EG.5系統が優勢だが、11月以降BA.2.86系統(JN.1系統を含む)が増加)

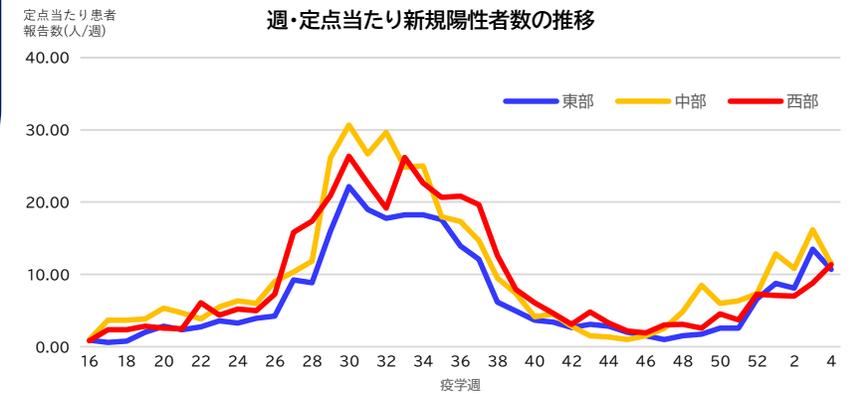
【インフルエンザ】 警報解除(1/24)となったが、下げ止まり感あり

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】 ※県内全域に警報を発令中(R5/10/4~)

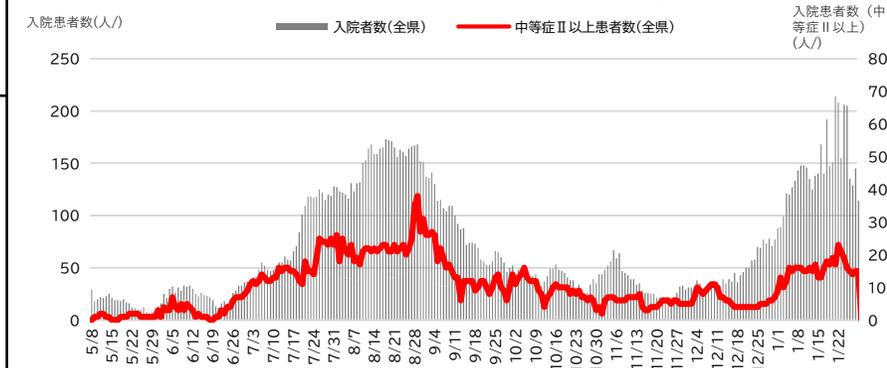
新型コロナ及びインフルエンザ患者報告数の推移
(定点医療機関・週当たり)



週・定点当たり新規陽性者数の推移



新型コロナ入院患者数及び中等症Ⅱ以上患者数

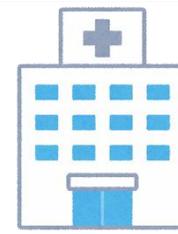


県民の皆様へ ~新型コロナウィルスが感染拡大中~

○ 基本的な感染防止対策(手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用等)の励行をお願いします。



○ 発熱等の症状がある場合は、事前にかかりつけ医に連絡の上、早めに受診し、医師の指示に従い、治療しましょう。



○ 高齢者や基礎疾患をお持ちの方などは、換気の悪い場所や混雑した場所、近接した会話を避けることも有効です。予防接種も検討しましょう。(R6年3月まで無料)



○ 医療機関や高齢者施設等での集団感染事例も増加しています。

面会時には、施設のルールに従うとともに、体調管理を徹底していただき体調不調時には延期等も検討しましょう。



(株)モリタ製作所 (本社:京都市) 倉吉拠点の事業拡張

◇国内・海外市場でのさらなる需要獲得・競争力強化のため、**ロボット化や設備増強により、生産能力拡大と効率化を図る**

- ◇投資場所: 倉吉市の既存工場内に設備導入(一部工場増築)
- ◇投資規模: 約23億円
- ◇雇員人数: 10名程度増
- ※令和8年度末投資完了・稼働予定



(株)モリタ製作所 鳥取工場

歯科医療機器トップメーカー



ハンドピース

画像診断装置

⇒ 県は産業未来共創補助金で支援

(株)鶴見製作所 (本社:大阪府) 南部町での事業拡張

◇ポンプ部品等の**鋳造工場改修及び設備を増強し生産性向上を図る**

◇鋳造で使用する**砂型造形の研究開発を拡充**

- ◇投資場所: 南部町の既存工場内
- ◇投資規模: 約11億円
- ◇雇員人数: 5名程度増
- ※令和8年秋頃に投資完了予定



(株)鶴見製作所 造形研究所

水中ポンプの国内シェアNo.1



鋳造用の砂型

⇒ 県は産業未来共創補助金で支援

令和6年度当初予算案(商工労働関係)

◇**産業の振興に向けた本県経済の諸課題への対応**

- **ゼロゼロ融資返済本格化に備えた経営安定化対策 (0.6億円)**
 - ⇒ ゼロゼロ融資の本格返済を見据え、中長期的な資金繰りの安定と経営力向上を図る借換資金(最長15年(据置5年)、最優遇利率1.2%、融資枠100億円)創設とフォロー体制強化
- **物流の2024年問題解決に向けた「トリロジ」の推進 (0.4億円)**
 - ⇒ トリロジ推進運動共同宣言に基づく、物流効率化・省力化に資する設備投資支援、取引環境改善の啓発、モーダルシフトの促進、相談窓口の設置、ロジスティクス人材育成等

はばたく！鳥取産業未来共創会議 (2月6日)

◇**県経済・産業の成長・発展に向けて、産学官で産業振興施策を議論する「産業未来共創会議」開催**

メンバー: 経済団体、学術機関、女性・若手経営者

⇒ 10年後の成長目標(製造品出荷額1兆円等)達成に向け、**産業振興未来ビジョンを改訂(R3.4策定。R6.4改訂予定)**

台湾チャーター便(中華航空)

桜の時期に合わせ、鳥取砂丘コナン空港へ就航！(4往復)

<運航概要>

- 1 運航日：3月27日(水)、31日(日)、4月4日(木)、8日(月)
- 2 運航区間：台北桃園空港－鳥取砂丘コナン空港
- 3 販売旅行社：鳳凰旅行社
- 4 使用機材：B737-800(158人乗り)



⇒台湾での知名度向上・チャーター実績を積み重ねることで
県内空港への台湾からの定期便就航を実現

インバウンド受入環境総点検会議(2月1日)

◇外国人観光客の更なる誘客促進を図るため、
受入環境の総点検の実施に向けた会議を開催

⇒外国人観光客の来訪増に伴い、米子鬼太郎空港や観光地・宿泊施設等での多言語対応、空港駐車場の案内表示、二次交通の確保など、**受入環境の速やかな総点検を実施する。**

タイ・台湾での鳥取和牛プロモーション

- ◇タイの高級ホテル「マンダリン・オリエンタル・バンコク」内のレストラン(「キヌ・バイ・タカギ」、「ロードジムス」)でプロモーションを実施
内容：鳥取和牛プロモーションイベント「鳥取ナイト」(2月10日)
鳥取和牛メニューフェア(2月11日～19日)
- ◇台湾の焼き肉店で唯一ミシュラン1つ星を獲得した「俺達の肉屋」(台中市)でプロモーションを実施
※初開催
内容：鳥取和牛と県産酒のメニューフェア(2月10日～25日)



ねんりんピックのさらなる盛り上げへ!

大会旗リレーイベントを智頭町で開催!

- 智頭宿雪まつり(2/3(土))で、キャラバン隊が愛媛県から引き継いだ大会旗を披露してPR

大会オリジナルソングに合わせたダンスを披露!

- とっとり元気フェス(2/4(日))で、ダンス教室「ゆるダン」がh a c t oさんの歌う「鳥取に恋して」に合わせたみんなが楽しめる**ダンス**の振付けを披露

ダンス教室「ゆるダン」代表の
佐々木啓太さんが考案♪

